

ぎかいのトビラ



【特集】令和4年度予算審査
財政の健全化を目指す
新年度予算を可決

P2

No.137
令和4年(2022年)
5月1日発行
(通巻246号)

【キリンと桜】
「ヒノトストーンZOO(羽村市動物公園)」にて、昨年4月に誕生したアミメキリンの「彩羽(いろは)」(左)。(令和4年4月5日撮影)

- 審議した主な議案
 - 市長提出議案 P8
 - 議員提出議案 P9
- 議案の議決結果 P10
- 市政について問う
 - 《一般質問》 P12
- 市議会からのお知らせ P20
- 議会活動報告 P21

新年度予算を可決

3月15日～17日に、17人の委員で構成された一般会計等予算審査特別委員会を開催し、令和4年度予算について審査しました。

その結果、一般会計と4つの特別会計、2つの公営企業会計の新年度予算をすべて可決すべきと決定しました。この特別委員会の審査結果を本会議最終日に報告し、7つの会計すべてを原案のとおり可決しました。

歳入は、市有地処分に伴う財産収入を予算化し、基金繰入金を減額し将来負担の軽減を図りました。

歳出は、学校などの公共施設や道路などの維持補修費や更新にかかる経費を増額しました。

委員の質疑

一般会計歳入

Q 不動産売却収入で市有地処分金が5億円計上されているが、売却候補地は。

A 普通財産と行政財産を合わせて候補地をリスト化しており、その中から最終的な売却候補地を選定していく。

Q 市有地売却までのスケジュールは。

A 売却地の決定から測量や不動産鑑定などに5か月、その後入札

から落札までに3か月、落札後、納付金が納付されるまでに1か月、計8～9か月を見込んでいます。

Q 市民税法人分を前年度と比較して20%増で見込んでいます。根拠は。

A 企業への聞き取りや令和3年度決算の状況を勘案し、今後の景気の回復を見込み、増額で積算した。

一般会計歳出

子ども・子育て

Q 日本脳炎ワクチンが製造の関係で不足しており、定期接種が遅れているが、今後どうなるのか。

A 令和3年度中は一時的に日本脳炎ワクチンの供給が減少したが、令和4年度は、十分な量が確保される見込みであり、対象者には個別に通知し、接種を進めていく。

Q 私立保育園運営費助成金は具体的にどのように見直すのか。保育士の処遇改善に影響はないか。

A 保育職員研修の経費など市独自の補助である施設運営助成金を11%削減するもの。国が示す処遇改善とは別の部分である。

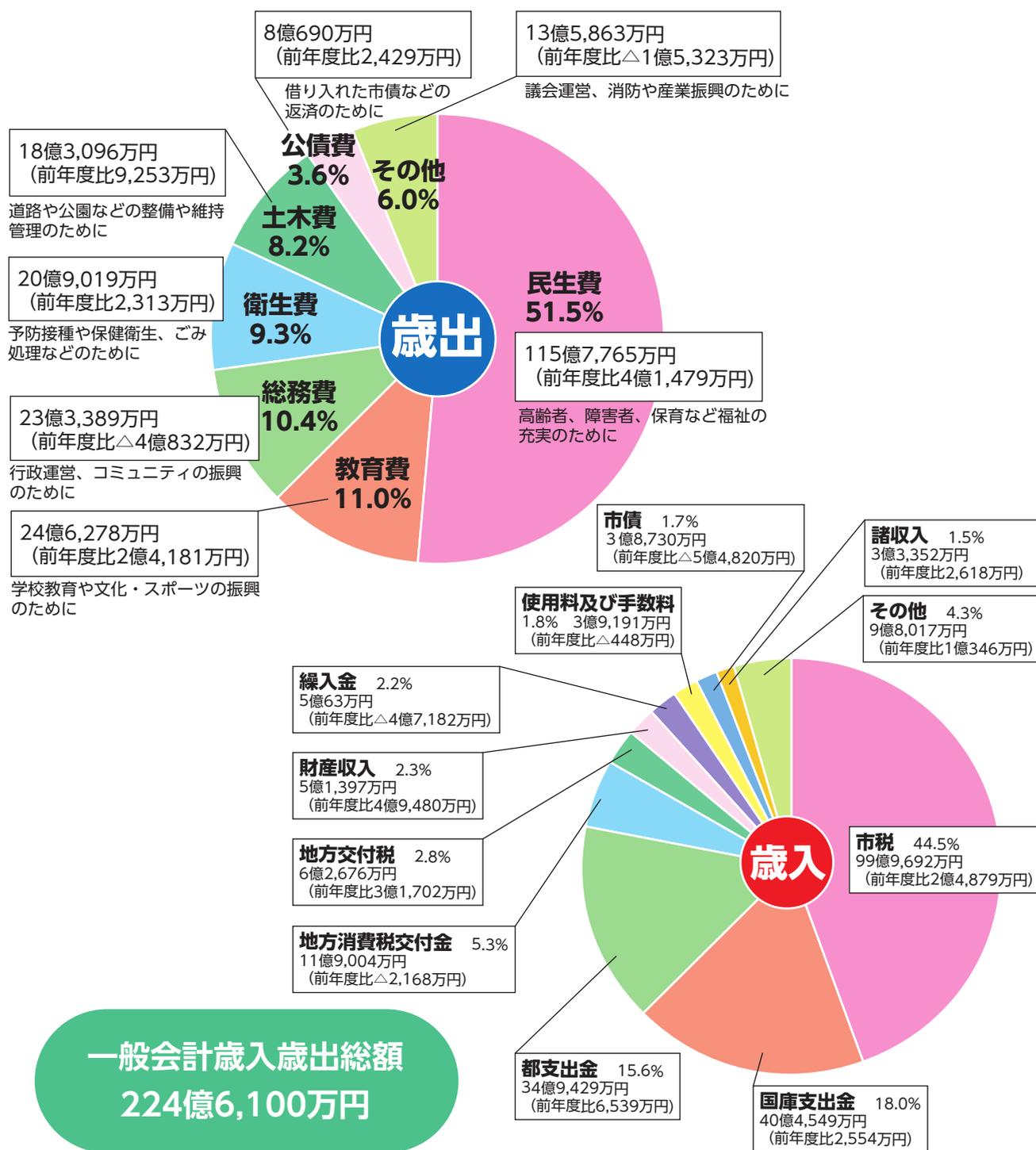
市史編さん

Q 市史編さん事業の完了予定年月と追加経費の見込みは。

A すべての事業が完了となるのは、令和7年度を見込んでおり、経費は9000万円かかる。

第六次羽村市長期総合計画のスタート年 市税の減収、扶助費の増加で厳しい財政状況が続く

財政の健全化を目指す





■福祉・健康

Q 生理用品配布の施行実施の詳細は。

A 22個入りを280パック分予算を計上している。相談窓口の案内カードと一緒に公共施設のトイレに配置する方法と、個別に配布する方法を検討している。

Q 敬老のつどいはどのような形で行われるのか。

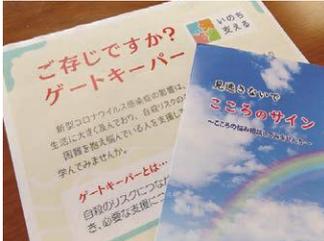
A ステージはこれまで同様に4回公演を行い、事前申込制とする。記念品と送迎バスについては廃止する。

Q 徘徊行動のある高齢者を介護する家族の負担を減らすために、見守りシールを配布するが、どのような内容か。

A 個人の情報が登録されたQR



生理用品の配布（昨年の様子）



ゲートキーパーに関するリーフレット



新たに設置された「ヒノトントンZOO」の看板

コードシールを徘徊行動の見られる方の洋服や持ち物などに貼っていただき、発見した人がQRコードを読み取ると、家族へ連絡がいく仕組みである。利用料は無料。

Q ゲートキーパー養成講座の内容と達成目標は。

A 市民向けの講座を定員50人で1回開催する。講座を聞いて、できるだけ多くの人にゲートキーパーになってもらうことが目標。

■暮らし

Q 日野自動車株式会社とネーミングライツパートナー協定を締結し、動物公園の愛称が「ヒノトントンZOO」と決定したが、看板設置など今後の予定は。

A 新たな看板は日野自動車株式会社が設置する予定となっている。

委員の討論(一般会計)

市民への説明と理解を得ることに期待

歳入は、土地の売却など不確定要素や、予算積算時と比較してウクライナ情勢の悪化などで経済への打撃も大きくなる恐れがあり、確保できるか懸念がある。歳出は、補助金・助成金の削減で財政再建を果たそうとするなど評価できる。行政と市民の架け橋として職員が本予算を市民に説明し、市民の理解を得られることを期待し、賛成。 <令和かがやき>

市民の視点に立った予算編成

令和4年度は、道路舗装の予算を大幅に増額し、法面が崩壊した市道の補強工事、動物公園前横断歩道橋の撤去などの安全対策も実施する。また、3歳児健康診査への視覚検査機器の導入や新型コロナウイルス対策も予算化しており、市民の視点に立った予算編成となっている。財政の健全化を強く要望し、賛成する。

<新緑会>

賛成

市民への影響が配慮されている

市民から見直しを求める声があがっていた「羽村駅西口土地区画整理事業」の検証を始めることは評価できる。厳しい財政状況へ対応するため、さまざまなサービス削減が提案されたが、極力、市民に影響が及ばない配慮もなされていると考える。学校施設の改修など、市民ニーズに応えた予算も盛り込まれていることが確認できた。

<日本共産党>

経常収支比率の改善を図った予算

歳入の市税収入は2.6%の増、市債残高増加抑制や基金残高確保に取り組み、歳出では、経常経費削減で経常収支比率の改善を図り、歳出予算の総額の抑制を図った予算である。また、都はすべての市区町村で「高校生等医療費助成」の早期実施が重要とし、市でも都補助での「高校生等医療費助成」の実施に向けた決断をすべきと強く申し述べて、賛成する。

<公明党>

Q 公園の管理運営を指定管理者に委ねようとする提案がされているが、その必要性は。

A 公園に関する要望は年間300件ほどある。それに応えるための技術力の確保、職員の高齢化、財政状況などが課題としてあり、指定管理者制度への移行を決めた。

Q テレビはむらに要する経費が減額している理由は。

A 事務事業の見直しを検討する中で、放映時間を30分から15分に縮小し、番組制作業務の委託料の削減を図った。

Q はむら夏まつり等の各イベントの今後の方向性は。

A はむらふるさと祭りは2日間の開催を1日とする予定と聞いている。産業祭は、今後、実行委員会が富士見公園での開催を企画し



羽村市が制作する広報番組「テレビはむら」



はむら夏まつり



撤去する動物公園前横断歩道橋

ていく。はむら夏まつりは、今年中止とするが、新たな形の市民の祭りを検討していく。

安全・安心

Q 動物公園前横断歩道橋撤去と交差点改修工事の期間、安全対策、周知は。

A 工期は約6か月で、学校の夏休み期間を利用して工事する予定。スケジュールが決まり次第、学校や周辺住民にお知らせする。

Q 道路維持整備に要する経費の工事請負費に一般財源と市債を多く入れている理由は。

A インフラや公共施設の老朽化に対応し、持続可能なまちづくりや財政運営をしていくためである。

一般会計については7件の賛成討論があり、採決の結果、全会一致で可決すべきと決定しました。

区画整理事業に対する検証を評価

予算は住民に税負担を求め一方、市民全体の福祉の向上を約束するものである。厳しい財政下で事務費や補助金を削減せざるを得ない現状を広報はむらにグラフ入りで示し、協力を求めたことは理解できる。悪化要因の一つが64億円以上つぎ込んだ「区画整理」。事業に対する検証委員会設置を評価し、賛成。

<世論>

賛成

将来を見据えたまちづくりへの対応が図られた予算

厳しい財政状況が続く中、そして新型コロナウイルス感染症の収束が見えない状況ではあるが、子育て、防災、都市基盤整備など、将来を見据えたまちづくりへの対応が図られた予算となっている。感染症から市民生活を守ることを最優先に、健全な財政運営を行うことを強く要望し、賛成。 <新政会>

学校施設の改修等の施策を評価

市税収入が2年連続で100億円を下回る中、財政の健全化を目指し、借金を減らし基金を増やす努力は評価できる。施策では、羽村第三中学校に自閉症・情緒障害特別支援学級の設置、学校施設の長寿命化計画・トイレ洋式化計画に基づく学校施設の改修、老朽化した動物公園前横断歩道橋撤去・交差点改良工事等は評価できる。 <市民ネットワーク>



■教育

Q 全小・中学校に導入される、1人1台端末で活用できる学習支援ドリルの内容は。

A 主要5教科に加えて中学校の実技教科が搭載されたドリルで、児童・生徒の習熟度や理解度を把握できるシステムとなっている。

Q 小・中学校の修学旅行・移動教室の補助金が減額されているが、令和4年度はどう変更するのか。

A 補助金は、小学校の移動教室が1人3千円、修学旅行が5千円、中学校の移動教室が1人5千円、修学旅行が1万円に減額する。

Q オリンピック競技種目の体験教室の内容、参加人数は。

A 小・中学生を対象にブレイクダンスの体験教室を実施予定。スポーツセンターで50人を対象に2日間実施する予定。

特別会計

■国民健康保険事業会計

Q 一人当たりの医療給付費の見込みと被保険者数の見込みは。



導入予定の学習支援ドリル (イメージ画像)

A 令和3年度と比較して3425円増の29万6617円、被保険者数は3000人減の1万1500人を見込んでいます。

■後期高齢者医療会計

Q 10月から被保険者の一部の窓口負担が2割に引き上げられる。その割合と保険証の交付時期は。

A 一定以上の所得がある方30・9%が2割負担となる見込み。保険証は7月に一斉更新分を発送し、9月に新しい負担割合のものを発送する。

■介護保険事業会計

Q フレイル予防施策をどのように充実していくか。

A 新たにトレーニングマシンを活用した教室やオンラインを活用

委員の討論(国民健康保険事業会計)

した教室を開催し、フレイル予防事業を充実していく。

反対

国民健康保険税の値上げに反対

実質賃金は下がり続け、今でさえ重すぎる保険税負担を、政府は都道府県化によって、段階的に区市町村からの繰入をやめさせることでさらに増やそうとしている。政府がこれ以上国民負担を増やすことこそ是正すべき。保険税の値上げを含む国民健康保険税を一部改正する条例に反対した理由と同様に、予算案も反対。
 <日本共産党>

国民健康保険事業会計には2件、羽村駅西口土地区画整理事業会計については、3件の討論があり、採決の結果、いずれも賛成多数で可決すべきと決定しました。その他の特別会計、公営企業会計については、賛成・反対の意見はなく全会一致で可決すべきと決定しました。

賛成

糖尿病重症化予防事業などに引き続き取り組み、適切な予算

予算総額は、前年度より0.16%減の58億9千万円となっている。国民健康保険加入者以外からの二重払いと批判のある法定外繰り入れは約4億5千万円と多額である。糖尿病重症化予防事業、ジェネリック医薬品の利用促進事業等にも引き続き取り組み、適切な予算と認められるので賛成。
 <新緑会>

Q 下水道事業が赤字である根本的な理由は。

■ 下水道事業会計

水道施設の遠方監視システムの更新工事の内容は。
A 水道施設主体の運転・監視・管理を行うもの。また、浄水場の2台のカメラを更新し、災害時にこれらの監視カメラを活用して、水道施設周辺の状況や那賀樋管の状況をリアルタイムで確認し、迅速に対応していく。

■ 水道事業会計

■ 公営企業会計

Q 川崎4丁目と羽東2丁目の埋蔵文化財調査は、遺跡・遺構が発掘され、時間を要しているが、令和4年度の対象地区はスケジュールを前倒しできないのか。
A 令和4年度調査箇所については、前倒しして対応しており、新年度早々契約事務手続きを進め、速やかに試掘調査を実施していく。

■ 羽村駅西口土地区画整理事業会計

令和4年度予算 ~各会計の内訳と前年度との比較~

単位：万円

区分	令和4年度(当初予算)	令和3年度(当初予算)	増減額	増減率	
一般会計	2,246,100	2,222,600	23,500	1.1%	
特別会計	国民健康保険事業	589,390	590,330	△ 940	△ 0.2%
	後期高齢者医療	140,700	132,240	8,460	6.4%
	介護保険事業	401,710	386,420	15,290	4.0%
	羽村駅西口土地区画整理事業	154,100	156,400	△ 2,300	△ 1.5%
特別会計合計	1,285,900	1,265,390	20,510	1.6%	
水道事業(公営企業会計)	173,690	179,093	△ 5,403	△ 3.0%	
下水道事業(公営企業会計)	171,947	172,393	△ 446	△ 0.3%	
全会計の単純合計	3,877,636	3,839,475	38,161	1.0%	

A 営業収益で営業費用が賄えないことが理由。赤字を解消するには料金の引き上げが必要になる。今後、市民の理解が進むような広報、お知らせをするよう取り組んでいく。

委員の討論(羽村駅西口土地区画整理事業会計)

道路整備は沿道街路整備に転換を

予算15億4,100万円のうち市債7億3千万円。今後も約100億円の借金で将来世代に多大な負担を強いる。道路整備は沿道街路整備事業に転換すべきである。事業費や住民負担、工事でのCO₂の発生も削減でき、地球温暖化防止に沿う新たなまちづくりである。交渉が進まぬ集合住宅への移転補償費予算化は、認められない。
 <世論>

反対

従来通りの事業計画が進む予算に反対

厳しい一般会計から6億2,605万円を繰り出し、7億3千万円を借金し、碁盤の目のように道路を作る、従来通りの事業計画が進む予算になっていて、賛成できない。地域の30%が道路になる事業は、一般会計を圧迫し、将来世代に大きな借金を先送りするものであり、抜本的に見直すべきである。

<市民ネットワーク>

賛成

経常経費の歳出抑制の取組みが見える

令和4年度予算は、歳入歳出ともに、15億4,100万円を計上。歳入は、補助金や市債を活用し市費負担軽減に配慮している。歳出は経常経費の歳出抑制の取組みが見える。議決した令和5年度までの債務負担行為内において、関係権利者に不利益が生じない様、計画的かつ着実な事業推進を図るための適切な予算措置であると考えられる。
 <新政会>

※内容は要約しています。詳細は会議録をご覧ください。詳細な会議録は議案終了後2か月程度でできあがります。インターネットで会議録をご覧になる場合は、「羽村市議会」→「会議録の検索と閲覧」→「令和4年」→「一般会計等予算審査特別委員会」